

# 令和7年度博多港岸壁補修工事

## 特記仕様書

令和 7年 12月  
国土交通省九州地方整備局  
博多港湾・空港整備事務所

## 1. 工事概要

本工事は、博多港岸壁の渡版補修を行うものである。

## 2. 施工場所

福岡市東区みなと香椎1丁目地先

## 3. 工期

契約締結日から令和8年3月23日までとする。

なお、工期は、土曜日、日曜日、祝休日を休日として設定している。

## 4. 工事内容

工種名称	規格・形状寸法	単位	数量	参考数量	摘要
岸壁補修 渡版補修		枚	72	無収縮モルタル 0.72 m <sup>3</sup> シーリング材 0.072 m <sup>3</sup>	

## 5. 工事仕様

### 5-1 総則

本特記仕様書に定めのない事項については、「港湾工事共通仕様書」(国土交通省港湾局 令和7年3月)の定めによるものとする。

なお、設計図書公表後、共通仕様書の改訂により実施内容に変更が生じた場合は、監督職員と別途協議し、実施するものとする。

### 5-2 渡版補修

別添図に示す充填箇所をはり、ボルトを一部切断の上、無収縮モルタル・目地シーリング材を充填するものとする。なお、撤去材については、受注者にて適切に処分するものとする。

### 5-3 検査

本特記仕様書のとおり実施されたことの確認をもって検査とする。

## 6. その他

6-1 本工事の施工において、疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

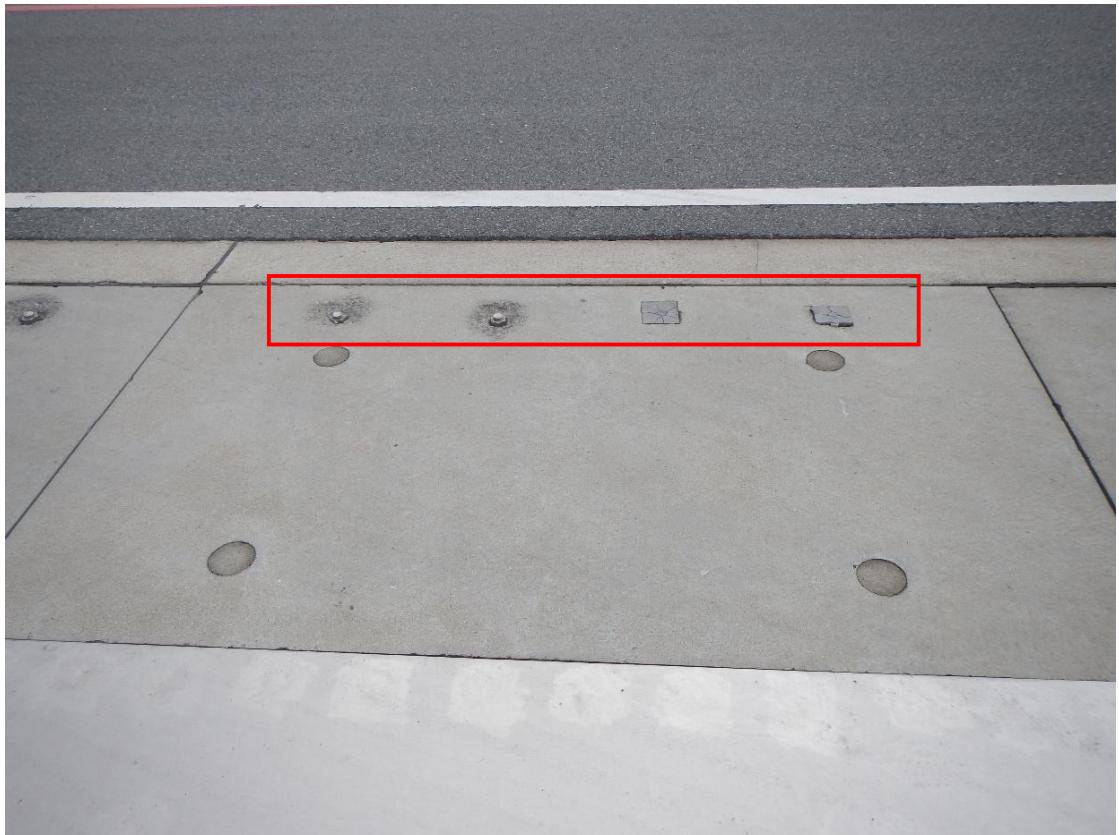
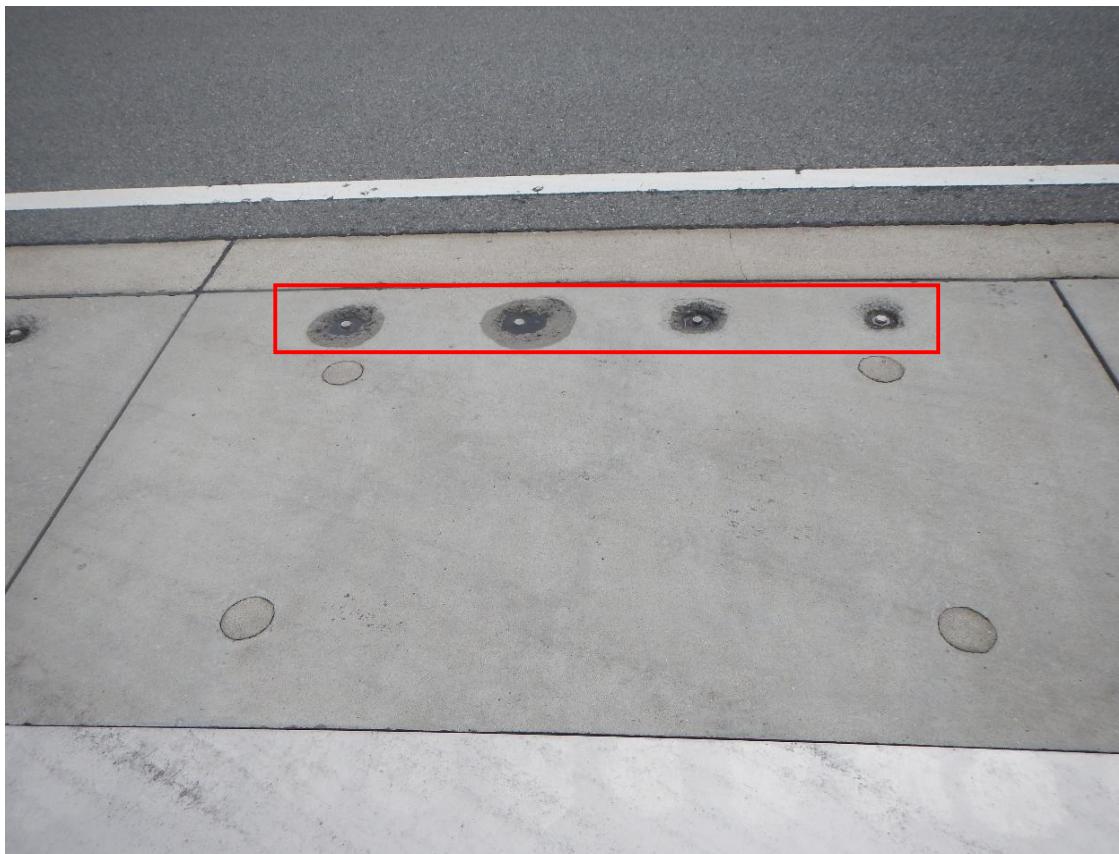
6-2 施工にあたっては、既設構造物に損傷を与えないよう十分留意しなければならない。

6-3 本工事の施工については、利用者と十分調整の上施工しなければならない。

6-4 本工事の作業期間中は岸壁の利用状況等により施工の制約を受けないことを想定しているが、制約を受ける事となった場合は、監督職員と協議するものとする。

6-5 本工事において、国際航海船舶及び国際港湾施設の保安の確保等に関する法律第29条第1項に基づき設定された制限区域に立ち入るため、受注者は、埠頭保安管理者の指示に従って、必要な処置を講じなければならない。

## 補修対象箇所（参考）





# 渡版補修位置図

## J1ジャケット部

土留側

L = 70.00 m

PL(SUS) 26 @ 2.49(目地 0.01) = 62.50 m

2.72 m, 2.28 m, 2.50 m  
(2.71+目地0.01) (2.49+目地0.01)  
(2.27+目地0.01)

既設C2

J2ジャケット

渡版No.

28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 渡版No.

渡版(標準タイプ) 据付 26枚 26 @ 2.49(目地 0.01) = 65.00 m

渡版(異形タイプ) 据付 2枚 26 @ 2.49(目地 0.01) = 5.00 m

棧橋側

J3ジャケット

J1ジャケット

渡版No.

56 55 54 53 52 51 50 49 48 47 46 45 44 43 42 41 40 39 38 37 36 35 34 33 32 31 30 29 渡版No.

渡版(標準タイプ) 据付 28枚 28 @ 2.49(目地 0.01) = 70.00 m

棧橋側

渡版No.

84 83 82 81 80 79 78 77 76 75 74 73 72 71 70 69 68 67 66 65 64 63 62 61 60 59 58 57 渡版No.

渡版(標準タイプ) 据付 28枚 28 @ 2.49(目地 0.01) = 70.00 m

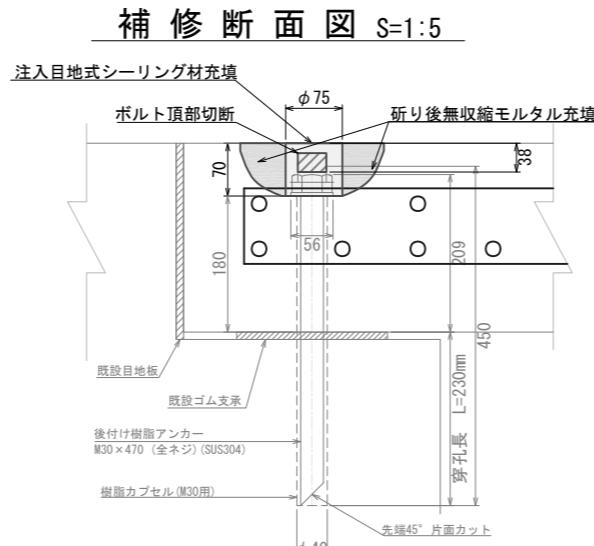
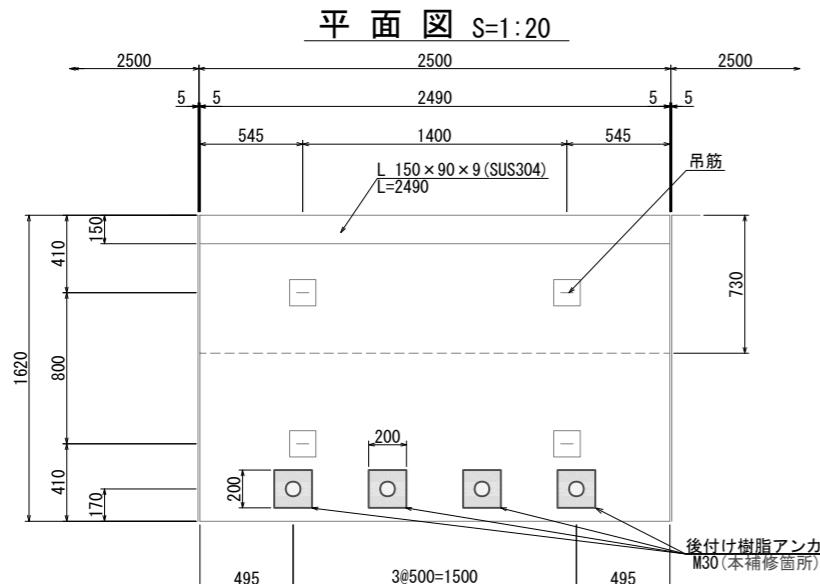
棧橋側

凡例

	渡版
	PL(SUS)
	補修対象渡版 (アンカ一部変状有)

年 度	令和7年度	図面番号	2
工 事 名	令和7年度博多港岸壁補修工事		
図面名称	渡版補修位置図		
縮 尺	1:150	单 位	m
設計年月日	令和7年12月 組 数 全3枚		
国土交通省 九州地方整備局 博多港湾・空港整備事務所			

# 渡版補修施工図



## 補修数量

種別	規格	単位	渡版1枚当り		
			1箇所	全個数	合計
カッター	200×200mm	m	0.8	4	3.2
渡版研ぎ	200×200mm, t=70mm	m <sup>2</sup>	0.04	4	0.16
ボルト切断	M30	箇所	1	4	4
基面整正		箇所	1	4	4
ナット(流用)	M30	個	1	4	4
ボンド管	φ75	個	1	4	4
無収縮モルタル		m <sup>3</sup>	0.0025	4	0.010
シーリング材	注入式目地, φ=75mm	m <sup>3</sup>	0.0003	4	0.001

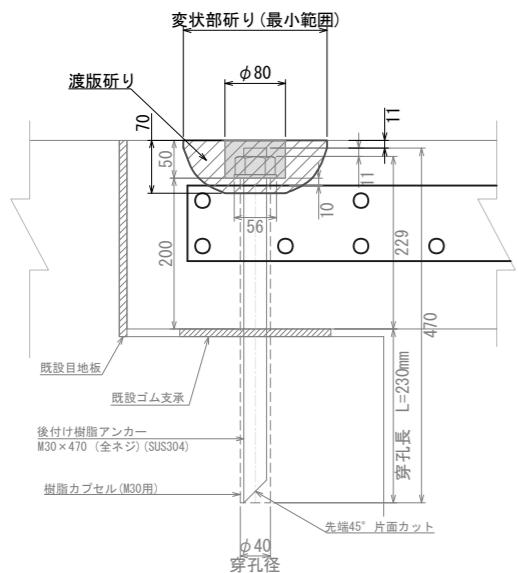
種別	規格	単位	補修対象渡版 (72枚)		
			数量	備考	
カッター	200×200mm	m	230		
渡版研ぎ	200×200mm, t=70mm	m <sup>2</sup>	11.52		
ボルト切断	M30	箇所	288		
基面整正		箇所	288		
ナット(流用)	M30	個	288		
ボンド管	φ75	m	20.16	L=0.07m, 288箇所	
無収縮モルタル		kg	1350	0.72m <sup>3</sup> , 密度 1.875t/m <sup>3</sup>	
シーリング材	注入式目地	kg	73.44	0.072m <sup>3</sup> , 密度 1.02t/m <sup>3</sup>	

※ナットについては基本的には流用を想定しているが、ナットが欠けている箇所については新規設置すること。

## 施工フロー S=1:5

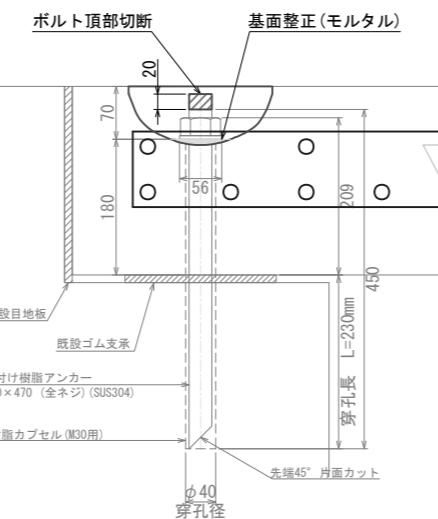
### 【STEP-1】

渡版天端からナット固定基面まで70mmの範囲を研ぎ(既存の補修材は撤去)、清掃する。  
剥離・ひび割れ防止のため、端部は10mm程度カッターを入れる。



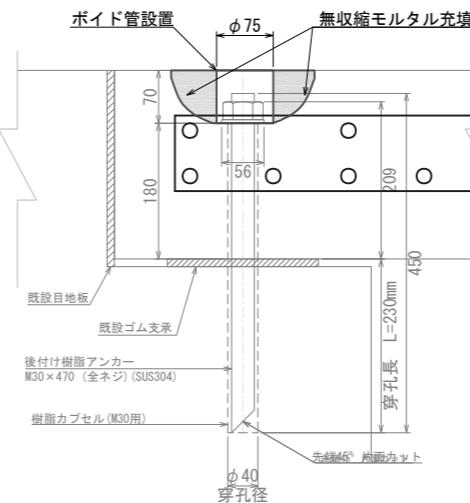
### 【STEP-2】

ボルト頂部を20mm切削し、基面整正を行った後にナットを固定する。



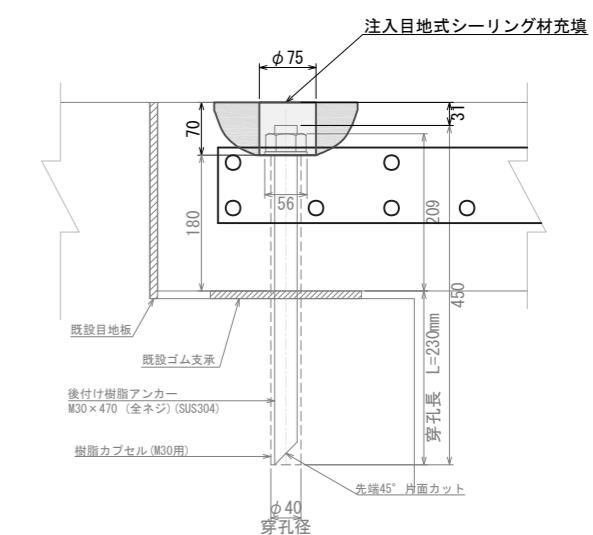
### 【STEP-3】

アンカーリングを覆う形でボンド管を設置する。  
ボンド管の外側を無収縮モルタルにて充填する。



### 【STEP-4】

モルタル硬化後にボンド管を取り外し注入式目地シーリング材を充填する。  
目地材注入に先立ち、補修箇所を十分に乾燥させ、プライマーを塗布する。



※数量計算上研ぎ範囲を200×200×70mmとしているが、鉄筋の干渉が想定されるため、ナット設置箇所以外の研ぎ深さについては現地合わせのこと。

年 度	令和7年度	図面番号	3
工 事 名	令和7年度博多港岸壁補修工事		
図面名称	渡版補修施工図		
縮 尺	図示	単 位	m
設計年月	令和7年12月	組 数	全3枚

国土交通省 九州地方整備局 博多港湾・空港整備事務所